

ドライブシミュレーターを用いた自動車運転リハビリテーション治療 (driving rehabilitation)

桔梗ヶ原病院
園原和樹

【目的】昨年の学会発表において、ドライブシミュレーター(Honda セーフティナビ, 以下 DS) を用いた訓練により運転反応検査が改善することを報告した。今回、総合学習体験を新たな評価指標に加えて、DSによる訓練効果について更なる検討を行った。

【対象】脳血管障害後のリハビリテーションを目的として当院に入院した患者のうち、運転再開の希望があり、研究についての同意が得られた8名を対象とした。

【方法】当院における運転支援プログラムに準じて、患者に対して DS を用いた訓練を施行した。あわせて、訓練の開始時と終了時に、運転反応検査と総合学習体験による評価を行った。

【結果】当院転院後に DS を用いた訓練を平均 43.0 ± 23.0 日間行った。訓練開始前後の評価については、認知反応検査 6 名 (75%)、総合学体験 6 名 (75%) で評価指標の改善を認め、全例が運転可能と判断されて自宅退院した。

【考察】今回、新たな評価指標として加わった総合学習体験は、市街地走行を通じて運転のプロセス(認知・判断・操作)を総合的に評価することができる。DS を用いた訓練には運転技能の再獲得や運転習慣の再学習の意義があり、DS はリハビリテーションの訓練機器となる可能性が示唆された。